

A Support System Providing Lasting Peace of Mind that is Always by Your Side

ずっと寄り添う 安心が続くサポート体制

結婚・妊娠・出産・子育てを経て、こどもたちが成長して社会にはばたき、ふるさと秦野で新しい家庭を築いていく…。あらゆるライフステージで市民の皆さんをサポートできる環境づくりを進めています。子育てに関わる全ての人たちが心豊かに過ごせるよう、秦野市はひとにやさしい支援をこれからも充実させていきます。



1

安心して出産できる環境の充実

Enhancing a Safe and Supportive Environment for Childbirth

市内で分娩できる産科有床診療所として、令和5年（2023年）11月にアクアベルクリニックが開院し、多くの妊産婦に利用されています。また、身体のケア、母乳のケア、休養、リフレッシュ、育児相談など、産後のママと赤ちゃんの大切な時間をサポートする産後ケア事業も実施しており、助産院や医療機関での日帰り型・訪問型・宿泊型のケアのほか、参加者同士の交流ができる日帰り型の「産後ゆったりルーム ぽっかぽか」もあります。

産科有床診療所 産後ケア事業



2

切れ目のない子育て支援

Seamless Support for Raising Children

こども家庭センターでは、妊産婦、子育て世帯、こどもの不安や悩みに寄り添いながら、切れ目ない相談・支援を行っています。保健師、助産師、家庭相談員などの専門職が、妊娠、出産、子育てまでをトータルで支えます。また、市内に9か所ある「ぼけっと21」や鶴巻地区で開設している「ちっちゃなて」は、子育て支援センターとして、常駐するアドバイザーが気軽に子育てなどの相談に対応するとともに、親子同士の触れ合いの場を提供しています。

こども家庭センター 子育て支援センター



3

多様な保育環境の整備

Developing Diverse and Inclusive Childcare Options

認定こども園・認可保育所・幼稚園など、公私・園種を問わず、その特性を生かして保護者や地域のニーズに応じた運営を行っています。また、未就園児の一時預かりや、病後児保育などにも対応しており、子育て世帯を支援する環境づくりを行っています。

認定こども園 認可保育所 幼稚園



4

地域による見守り、居場所づくり

Creating Community-Based Child Support and Safe Spaces

こどもの居場所づくりや親同士の情報交換を支援する民間の団体が多く活動しています。それぞれの活動団体がつながりを持つ登録制の「はだのっ子未来応援サポーター」も立ち上がり、地域全体で子育てを応援する体制づくりが進んでいます。

こども食堂、学習支援 はだのっ子未来応援サポーター



母子手帳アプリ「母子モ」



こどもの予防接種や健診データ、子育て日記を簡単に記録できる母子手帳アプリ（電子母子健康手帳）を通じて、乳幼児健診や親子向けの情報などを配信しています。

子育ての情報を一冊に 「子育てサポートブック」

妊娠・出産から就学前まで、子育てに役立つ情報を一冊にまとめた「子育てサポートブック」には、認定こども園・認可保育所・幼稚園情報、相談窓口、医療機関の案内など、必要な支援制度や地域資源を分かりやすく掲載しています。安心して子育てができるよう、情報の面からもサポートしています。



詳しい情報は
市HPへ



5

結婚・新生活を応援

Supporting Marriage and Newlywed Life

結婚を希望する若者の出会いづくりのサポートや新婚世帯の家賃や引っ越し費用を助成するなど、新たな門出を多方面から支えることで、ふるさと秦野で築く新たな家庭を応援します。

婚活応援セミナー、イベントの実施

結婚新生活助成（賃貸・引っ越し費用の助成）

6

はだのOMOTANライフ応援事業

Hadano OMOTAN Life Support Program

子育て世帯の移住定住促進を目的として、新たに市内に住宅を購入した際の費用の一部を助成する制度です。基本額20万円に、子育てや市外からの転入、親世帯との同居や近居などの条件に該当するとそれぞれ10万円を加算し、最大60万円を助成します。

移住定住促進の助成制度





Hadano Learning that Nurtures Children's Dreams and Hopes

こどもたちの夢と希望を育む秦野の学び

誰もが安心して学べる環境を整備するとともに、子育て家庭の負担を軽減する学校給食や園小中一貫教育を進めています。さらに、教育現場でのデジタル化を進めて教員の負担軽減を図ることで、こどもたちと向き合う時間を確保し、児童・生徒に優しく、市民に寄り添う教育施策を推進しています。

教育環境の充実に向けて、継続的に取り組んでいます。

Initiatives are Continuously Being Tackled to Enhance the Educational Environment.



ICT教育

ICT Education

ICT機器を活用した新しい学びの形



タブレット端末を効果的に活用するため、AI搭載の学習支援ドリルアプリや思考力を高める授業支援アプリを導入するなど、デジタル教材を活用することで、より分かりやすく、こどもたちの興味を引き出す学びを展開しています。

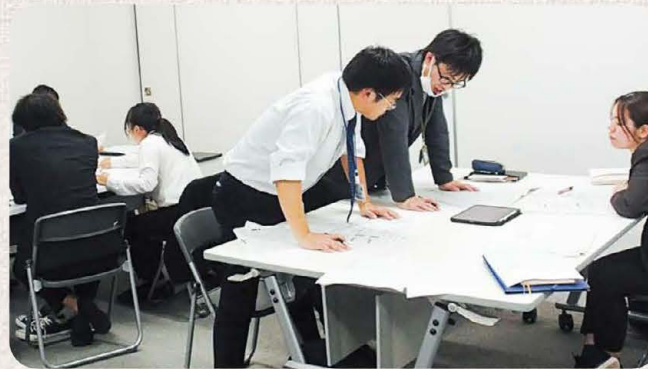


タブレットを使用した授業



スマートスクール構想の実現

一人1台端末の効果的な活用、高速通信網やクラウド環境の整備、教育データの利活用、校務の効率化などを通じて、教員がこどもたちと向き合う時間を確保するとともに、個別最適化された学びや主体的・対話的な学びの実現により、教育水準の改善向上を目指しています。



教員によるタブレット上で行うテストの問題作成

はだのメソッド[※]による一貫教育

Integrated Education Based on the Hadano Method

育ちと学びの連続性の確保



公私・園種を問わず、乳幼児期から義務教育段階終了までの一貫した教育活動を推進し、こどもたちの生きる力を育みます。

※はだのメソッドとは
公私や園種の枠を超えた園小の接続・連携強化と、義務教育学校の設置を見据えた更なる小中一貫教育を推進する秦野市ならではの取り組み。



小・中学校合同の挨拶運動



小・中学校の教員による合同検討会



秦野ふるさと科

小・中一貫した秦野市ならではの特色あるカリキュラムです。

自然や歴史、文化・伝統芸能など、さまざまな分野の地域素材を生かし、地域の方々にもご支援いただきながら、こどもたちのふるさと秦野への誇りや愛着を育む教育活動を展開しています。



はだのっ子を育む学校給食

School Lunch Program that Nurtures Hadano Children

小中学校の完全給食



市内にある13の小学校は全て、校舎内に有する給食調理室で調理した給食を提供しています。中学校では、令和3年（2021年）12月に開設した秦野市学校給食センター（はだのっ子キッチン）による給食の提供を開始しました。

小学校では、こどもたちがさやむきや皮むきを行った秦野産の「そら豆」や「とうもろこし」をその日の給食で提供するなど、食への関心や地産地消の意識を高める食育活動を行っています。また、小中学校ともに、日常的に「小松菜」「たまねぎ」「大根」など、幅広い地場産物を積極的に取り入れています。



「かながわ産品学校給食デー」「ふるさと秦野食育DAY」

小学校では「かながわ産品学校給食デー」、中学校では「ふるさと秦野食育DAY」として年間3回以上、秦野産や県産の食材を多く使った献立を提供しています。

また、生産者との交流や規格外野菜の活用などを通じて、地域とつながる食育を実践しています。

